



1 阪神国道電車と中央卸売市場東部分場
 大正15年に阪神国道が開通し、翌昭和2年に野田～東神戸間に阪神電鉄国道線が開業。「金魚鉢」の愛称で親しまれました。昭和44年に東神戸～西灘間、昭和50年に西灘～野田間が廃止されました。写真は東神戸終点付近、後ろに見えているのが中央卸売市場東部分場です。

湾岸 ノスタルジック 写真館

今回の湾岸探訪で登場した、懐かしい場所の写真を紹介します。覚えていらっしゃるでしょうか？皆さんの中で灘区に関する懐かしい思い出や、古い写真などありましたら「なだだな」までご一報ください。
 〒657-8570 (住所不要)
灘区役所まちづくり推進課内
 「なだだな」係



5 レンガの酒蔵
 酒蔵の建物というと黒い板塀というイメージがあるかもしれませんが、レンガ造のものもありました。沢の鶴資料館の西側に写真のようなレンガ造の精米蔵がありました。残念ながら震災で倒壊してしまいましたが、灘の浜手にはこのような建物がたくさんありました。



2 臨港鉄道
 昭和47年に神戸駅～摩耶埠頭貨物駅間に臨港鉄道が開通しました。また、神戸製鋼灘浜工場までの専用貨物線もあり、たくさん貨物列車の往来がありました。現在は空き地になったり道路になったりしていますが、その面影を探すことができます。



3 灘埠頭
 昭和27年に完成した灘埠頭。埋め立てには大倉山を削った時の土砂や、阪神電車岩屋～三宮間の地下工事に出土した土砂などが使われました。現在は空地が多くなりましたが、完成当時は石油タンクが並び、大きなタンカーが接岸する風景も見られました。



4 大石の浜
 今では想像もつきませんが、都賀川の河口には砂浜がありました。「大石海水浴場」として、夏にはたくさんの海水浴客で賑わったそうです。写真のように砂浜に面して酒蔵が並んでいました。のどかな風景ですね。

写真：『灘のうつりかわり』（灘区勢振興会）、『わが街の小さな電車たち』（神戸新聞出版センター）、若井喜一様、津村宮子様

都賀川朝市開催

去る2月5日(日)、都賀川公園(阪神大石駅南側)にて灘区民まちづくり会議主催の「都賀川朝市」を開催しました。そうめん、ゆば、ソース、ナッツ、たわし、酒かすなど灘にちなんだ物産や、とれたての野菜、花などの販売を行いました。都賀川朝市は第一日曜日の定期開催を予定しています。



なだだ だな

灘のまちを知るための
情報誌

2006. 4
Vol.
17

編集
発行
灘区民まちづくり会議
企画運営委員会
灘区役所



灘湾岸ハーバーウォーキング 30

第4回 灘のまち探検隊が行く

なだ だな

編集 灘区民まちづくり会議
企画運営委員会
発行 灘区役所
〒657-8570
灘区役所まちづくり推進課内
(078) 843-7001(代)

なだだな No.17
2006年4月

灘区ホームページ「i-nada」
<http://www.city.kobe.jp/nada/>

第三火曜は
「ちょっと気配り」参加の日
一ちょっとした気配りで
住みよい灘区を一



神戸市広報印刷物登録
平成17年度第182号-2
(広報印刷物規格B-1類)



この広報紙は、再生紙を
使用しています。

灘湾岸ハーバーウォーキング 30

第4回 灘のまち探検隊が行く

震災後大きく変貌をとげつつある、灘浜の手。
歩いていると、新しいものの中に古いものが混じり、区内でももっとも面白いエリアの一つです。かつて酒造や重工業、港湾で栄えたところのおもかげがひっそりと残り、まちなかでは見ることのできないものもいっぱいあります。また、新たな魅力的なスポットも発見することができました。潮風を感じながらのハーバーウォーキングを楽しんでみてください。

<p>01 国道2号(阪神国道)</p>  <p>2号線には「阪神国道電車」が大坂の野田まで走っていました。そのデザインから「金魚鉢」と親しまれました。(裏面1参照)</p>	<p>02 HAT神戸入口</p>  <p>岩屋駅から海へ。HAT神戸の入口近くの国道2号線沿いには、中央卸売市場東部分場がありました。(裏面1参照)</p>	<p>03 阪神高速の下</p>  <p>阪神高速の下のなんの変哲もない空地。ここには神戸製鋼の引き込み線が走っていました。</p>	<p>04 区境の風景1</p>  <p>HAT神戸は灘区と中央区にまたがる巨大なニュータウン。なので境界あたりでは表示もなかよく2つ。</p>	<p>05 区境の風景2</p>  <p>左が県立美術館。ここが灘区と中央区の区境になります。向かって左が中央区、右が灘区。</p>	<p>06 ハーバーウォーク</p>  <p>神戸製鋼の工場があったあたり。海を見ながら散策できるプロムナード「ハーバーウォーク」。灘の港を体感できます。</p>	<p>07 船だまり</p>  <p>レジャーボートがたくさんとまっている船だまり。外国人専用のレジャー施設「敏馬ボートハウス」があったあたり。</p>	<p>08 海の骨董品</p>  <p>新しい船に混じって「昭和4年製造」の銘板がある古い船がひっそりたたずんでいました。この海の骨董品ですね。</p>	<p>09 はしけも健在</p>  <p>昔はたくさんとまっていたはしけ。すっかり数は少なくなりましたが、まだ見つけることができます。</p>	<p>10 岩屋のDNA!?</p>  <p>漁業が盛んだったころの岩屋を彷彿とさせてくれる、漁網を発見。まちのDNAは生き続けていました。</p>
<p>20 職人の気配</p>  <p>酒樽の材料発見。酒造所のまわりには、樽屋さん、孤屋さんなど、酒に関係する様々な職人さんがいました。</p>	<p>19 レンガ造酒蔵跡</p>  <p>震災でなくなりましたが、ここにはレンガ造りの立派な酒蔵(精米蔵)がありました。(裏面3参照)</p>	<p>18 潮風かおる畑</p>  <p>引き込み線跡の空地の一部は地域の人たちの花壇として利用されています。</p>	<p>17 菜の花や...</p>  <p>空き地には菜の花が。水車による菜種油の生産が盛んだったころを思い出させてくれる灘区の歴史の花です。</p>	<p>16 神戸製鋼廃線跡</p>  <p>湾岸の道沿いの空き地も引き込み線跡。たくさんの貨車が止まっていたヤードもこのあたりにありました。(裏面2参照)</p>	<p>15 摩耶埠頭へ向かう鉄路</p>  <p>なにげない道ですが、引き込み線の廃線跡。旧国鉄の「摩耶埠頭貨物駅」に向かっていた臨港線でした。</p>	<p>14 渡船のりば</p>  <p>釣り客向けの「渡船」も健在です。海から灘のまちをながめてみるのも楽しそうですね。</p>	<p>13 意外ときれいな海</p>  <p>港というとなんとなく汚れたようなイメージがありますが、下水道などが整備された今ではかなり透明度が高いのです。</p>	<p>12 西郷川河口</p>  <p>摩耶山から青谷川をへて西郷川となり、海へ。このあたりは海水が混じった汽水域です。</p>	<p>11 気持ちの良い岸壁</p>  <p>海に面した岸壁。潮風に吹かれ、波音を聞きながらBBQなんてしたら...ちょっとしたフィッシュマンズワフ気分。</p>
<p>21 酒蔵の骨董品</p>  <p>????!! 冷蔵庫? 古いまちには骨董品がたくさんあります。</p>	<p>22 都賀川河口</p>  <p>釣り人が糸を垂れる都賀川の河口。昔このあたりは砂浜で、海水浴も盛んに行われていました。(裏面4参照)</p>	<p>23 海鳥のサンクチュアリ</p>  <p>羽を休めるウミウ。市街地では見られない鳥もたくさんいます。パードウォッチングも楽しめます。</p>	<p>24 変わる摩耶埠頭</p>  <p>昭和43年に完成した摩耶埠頭。コンテナの数は減りましたが、新たにさまざまな物流センターが建設されています。</p>	<p>25 灘埠頭は今</p>  <p>昭和28年に完成した灘埠頭。昔は大きな石油タンクがいくつもならんでいましたが、今はもうありません。(裏面5参照)</p>	<p>26 酒蔵の遺跡?</p>  <p>西郷のまちに入ると、ちょうど「酒蔵の道」の工事中。歴史のありそうな古いレンガの土台を発見。</p>	<p>27 カラフルワールド</p>  <p>まるでブロックのようなカラフルな酒びんケース。これだけたくさんあるとまるでおもちゃ箱のようです。</p>	<p>28 知られざるマンホール</p>  <p>変わったマンホールが。神戸製鋼から酒造所に蒸気を送る管が埋められているそうです。</p>	<p>29 ジェットトンネル</p>  <p>新在家運河に勢いよく水が流れ込むスポット。ここは水温があっただかいようで、たくさん魚が集まってきました。</p>	<p>30 新在家運河</p>  <p>臨海部が埋められた時にできた新在家運河。ここを「釣り堀公園」にしたらおもしろそう。</p>



湾岸魅力スポット
上でご紹介した以外にも、灘区の湾岸沿いには、灘百選にも選ばれている魅力スポットや、新しい魅力スポットが点在しています。散歩の途中で訪れてみてはいかがでしょうか。

